

授業科目 コンピュータシステム II

【担当教員名】 本間 久文		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要】 コンピュータを利用する際に必要になるソフトウェアについて学ぶ。オペレーティングシステムの構成と機能、ファイルシステム、セキュリティ技術などについて学習する。					
【学習目標】 ・コンピュータにおけるプログラム言語の役割について理解し、主なプログラム言語について特徴を説明できる。 ・オペレーティングシステムの構成と機能について理解し、その特徴について説明できる。 ・ファイルとデータベースの機能と役割について説明できる。 ・セキュリティ、マルチメディアの基本について理解する。 ・コンピュータに関する法制度とガイドラインについて理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソフトウェアとは				
2	パソコンのソフトウェア				
3	コンピュータプログラム				
4	プログラム言語				
5	言語処理プログラム				
6	プログラムとデータ構造				
7	ソフトウェア開発				
8	ソフトウェアの機能				
9	アルゴリズム				
10	ソフトウェアのテスト				
11	オペレーティングシステム				
12	Windows の基礎				
13	OS の構成				
14	タスク管理				
15	記憶管理				
16	ファイル管理				
17	運用管理				
18	データベースの概念				
19	データベースの設計と運用				
20	データベースの利用				
21	データベースの保守と制御				
22	ネットワークの概念				
23	LAN				
24	インターネット				
25	情報の保護対策				
26	マルチメディア				
27	個人情報と著作権				
28	情報保護のガイドライン				
29	情報保護と信頼性				
30	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		図解コンピュータ概論改訂3版「ソフトウェア・通	橋本洋志 他	オーム社	2010・2,500円+税
		信ネットワーク			
		オペレーティングシステムの仕組み	河野健二	朝倉書店	2007・3,200円+税
		ITText オペレーティングシステム	野口健一郎	オーム社	2009・2,800円+税
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 ・出席状況、授業態度、課題提出状況、試験等の内容により総合的に評価する。		【履修上の留意点】 ・配布されたプリントを中心に授業を展開する。また、各自で参考書を購入したり図書館の蔵書を利用するなどにより、内容の理解に努めることを望む。 ・適宜、確認テストを実施する予定なので、常に学習する努力を惜しまないこと。			